

社長挨拶



代表取締役社長
高須 康有

本年4月3日、当社は創立100周年を迎えました。この歴史的な節目を迎えることができましたのも、ひとえにお客様をはじめ関係者の皆様のご支援、ならびに歴代の先輩方や現役職員の皆さんのたゆまぬ努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

100周年を迎えるにあたり、このたび朝日工業社グループとしての新たな理念体系を策定いたしました。その体系の中核となる自社の存在意義（パーパス）を、「**情熱と技術で、世界をもっと最適に**」と定め、これを基に次の100年に取り組んでまいります。また、新しい理念の実現に向けた指針、方向性を示すものとして、長期ビジョン「**ASAHI-VISION2050**」も併せて策定しました。本ビジョンの達成にあくなき挑戦を続け、企業としての持続的成長を実現しながら、今後も「信頼され、必要とされる会社」であり続けたいと思います。

さて、設備業界を取り巻く環境は、技術革新と環境意識の高まりにより、大きく変化しております。特に、サステナビリティへの社会的要請に対して、環境配慮型建築の普及が進んでおり、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの活用等が求められております。当社としてもお客様や社会の多様なニーズを的確に把握し、省エネルギーやカーボンニュートラルを実現するソリューションの提供をさらに推進してまいります。

次の100年に向けた新たな歩みがすでに始まっております。変化の激しい時代だからこそ、柔軟な発想と確かな技術力が重要となります。お客様や社会の期待を超える価値を提供し、「情熱と技術」でさらなる高みへ挑戦してまいります。

技術本部長挨拶

創立100周年を迎え、お客さまはじめあらゆるステークホルダーの皆様に感謝申し上げます。そして、歴代社員含め全社員の皆様に感謝申し上げます。

当社の主な事業である建築設備業は、非常に早いスピードでの変革を求められています。時間外労働の上限規制、技術者不足への対応、そして、省エネ、省CO₂を推進し、脱炭素社会をつくり、地球環境の保全に貢献する施工、技術開発が期待されており、建築設備業は注目を浴びる存在となっています。また、最近は半導体工場やデータセンターの建設投資が活発化しており、ここでもまた建築設備業の重要性が高まっています。



執行役員 技術本部長
木村 隆志

さて、当社を取り巻く環境は、労働力不足、デジタル化の遅れ、高齢化などの課題を抱えていますが、先にも述べたように、社会からの期待に応えなければなりません。当社は100周年記念事業として建設する新技術研究所において、環境技術、植物栽培技術、施工デジタル技術などの研究開発を推進し、これらの技術の深化を図ります。さらに、全社横断的なDX開発プロジェクトを進め、様々な課題解決に取り組んでいきます。

これからの時代は、今まで以上に急速に変化し、技術は私たちの想像を超えた次元へと進化していくことでしょう。次の時代に向けて、私たちは情熱と誇りを持ち、失敗を恐れずに挑戦し続けることで、お客さまや社会の役に立つ企業へと成長していきましょう。

最後に、私たちは「オール朝日」として一丸となり、笑顔で未来へ前進して参りましょう。

目次

社長挨拶	代表取締役社長	高須 康有	・・・ 1
技術本部長挨拶	執行役員 技術本部長	木村 隆志	・・・ 2

特集

カーボンニュートラル社会をリードする Net Zero の追求	
芝浦工業大学 建築学部長・教授	秋元孝之・・・ 3

研究・開発

新技術研究所	
『つくば技術研究所』への導入技術の紹介	(技術研究所) ・ ・ 7
機器事業部の技術と開発販売品	(機器事業部) ・ ・ 9

テクニカルレポート

つくば技術研究所「ASAHI ワークフロー」	
施工 DX への取り組みについて	(本店) ・ ・ 11
最新の農業分野における閉鎖型植物工場事例	
椿本チエイン福井美浜工場	(大阪支社) ・ ・ 13

Bosch Hall (都筑区民文化センター)	
ホールの快適環境設備計画について	(横浜支店)・・・15
YKK AP30 ビル新築工事	
黒部の豊かな地下水の恵みを活かした空調システム (名古屋支店)・・・17	
児湯食鳥都城工場	
低温調理室 簡易置換空調システムについて (九州支店)・・・19	
フィールドレポート	
市立美唄病院建替え工事 (機械設備) (北海道支店)・・・21	
ピックルス茨城工場 (東北支店)・・・21	
(仮称) 千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備 (東関東支店)・・・21	
太陽インキ製造(株)技術開発センター (北関東支店)・・・22	
医療法人 若葉会 西条中央病院増築工事 (中国支店)・・・22	
編集後記	・・・22